

第2回 新しい戦前にさせない杉並集会

渡辺 治さん (一橋大学名誉教授)

講演

1947年東京都生まれ、一橋大学名誉教授、専攻：政治学、九条の会事務局。主な著書として、「憲法9条と25条・その力と可能性」(かもがわ出版・2009年)「安倍政権と日本政治の新段階」(旬報社・2012年)「愛国への執念 安倍政権と日本の危機」(大月書店・2014年)「憲法改正問題資料(上・下)」(旬報社・2015年)「現代史の中の安倍政権」(かもがわ出版・2016年)「戦後史の中の安倍政権」(新日本出版社・2018年)「安倍政権の終焉と新自由主義政治、改憲のゆくえ」(旬報社2020年)等、他多数。



今、立ち上がる時
憲法改悪・
大軍拡・大増税NO!
暮らしを守ろう

2024年3月24日(日)
16:00~

会場

杉並区立産業商工会館 展示室

阿佐谷南 3-2-19 (JR 中央線「阿佐ヶ谷駅」徒歩5分)

●資料代：800円

●コロナなど感染症対策にご協力願います。

●体調不調・自覚症状のある方はご遠慮ください。

■憲法改悪への動きが着実に進行しています。岸田総理は、今国会の施政方針演説で、自民党総裁任期の今年9月までには憲法改正を実現すると語り、「国会発議にむけ積極的な議論を期待し、条文案の具体化を進め党派を超えた議論を加速したい」と表明しました。

■また、昨年の臨時国会での衆院の憲法審査会では、緊急事態条項新設による議員任期の延長等、改憲のための条文案作成のための起草委員会の設置が自民党側から提起され、公明党、日本維新の会、国民民主党も同調、今国会でのさらなる進行が懸念されます。

■さらに、ウクライナ侵略戦争や「台湾有事」をことさら強調し、「敵地攻撃能力の保有」「軍事費の倍増」等を打ち出し、南西諸島でのミサイル配備・シェルター建設を加速させ、大軍拡・大増税・「新たな戦前づくり」を本格化させようとしています。

■能登地震への初動の遅れや救援対策の不十分さが指摘され、裏金問題が発覚しても、隠蔽、ごまかしに終始する岸田政権でもありません。このような改憲・大軍拡・大増税への道を加速させる岸田政権の現状にきちんと目を向け、これからの私たちの運動のありようを深めましょう。多くの方々の参加を訴えます。

主催

9条変えるな! 杉並市民アクション

連絡先

090-1859-6656 (東本)

090-8646-1168 (塩谷)

賛同：26団体と個人：阿佐ヶ谷教会平和の会／井の頭沿線九条の会永福／井の頭沿線九条の会浜田山／9条の会・杉並連絡会／九条の会荻窪／グリーンズ杉並／高円寺北9条の会／高円寺南九条の会／こうふく九条の会／自治市民の会／自由と平和のための@杉並／新社会党杉並総支部／新日本婦人の会杉並支部／杉並革新懇／杉並・生活者ネットワーク／杉並北9条の会／杉並の教育を考えるみんなの会／杉並総合法律事務所／戦争をさせない杉並1000人委員会／東京土建杉並支部／都教組杉並支部／西荻九条の会／日本共産党杉並地区委員会／方南・和泉9条の会／松の木・梅里・成田9条の会／和田堀九条の会 (50音順)